

よい豚のもとをたどればよい種豚

国産純粋種豚改良協議会だより



三人寄れば文殊
の知恵。困った時
はみんなで知恵
を出しましょう

第 17 号 2024. 2. 8 発行

2024 年 1 月 1 日の発生した能登半島地震で被災されました皆様に協議会からも謹んでお見舞い申し上げます。

被災された皆様のご心労やご不便を拝察致し案じております。

どうかご自愛くださいますよう心よりお祈り致します。

また、私どもで出来ます事がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

ご息災を祈念し、お見舞い申し上げます。

昨年 8 月、九州で豚熱の発生がありました。野生いのししの陽性も続き状況は予断を許さない状態です。飼料・資材の価格高騰、世界情勢にも影響を受け各方面で課題山積み。生産者、関係者の皆様においては心身ともに安らぐ間が少ない状態が続いてしまっていると思います。事務局は、さらに強固な『皆様の相談窓口』となるべく、支援と様々な手段で情報交換も積極的に行っています。

何かお困りごとや御相談ございましたら、お気軽に御連絡下さい。あなたの悩みは、あなたひとりや地域だけの問題ではなく、全国の仲間の抱える悩みです。まずは事務局にご一報下さい!!

令和 5 年度 国産純粋種豚改良協議会総会開催

国産純粋種豚改良協議会 令和 5 年度総会が、12 月 26 日(火)、R3C 会議室セミナールーム A(東京都渋谷区)にて開催されました。(一部 WEB 参加)

第 7 回目を迎えた総会では、有限会社 星種豚場 星正美協議会会長並びに農林水産省畜産局畜産振興課の葛谷畜産技術室長(畜産振興課新井課長補佐代読)から開会のご挨拶をいただいた後、令和 4 年度の事業実績及び収支決算に関する報告、監査結果の報告、令和 5 年度事業計画及び収支予算についての説明があり、全会一致で承認されました。

そのほか、協議会専用データベースシステムによる協議会遺伝的能力評価、種豚ランキングの公表状況と改良推進のための遺伝的能力評価の使い方説明、国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚規則一部改訂を上程し、承認されました。最後に、独立行政法人家畜改良センターの犬塚理事よりご挨拶をいただき、閉会となりました。

総会後の意見交換会では会員からの情報提供として①農研機構畜産研究部門食肉用家畜研究領域の岡村俊宏氏より、現在 JRA 事業で取り組んでいる「温暖化に適応した豚育種手法開発事業」について講演がありました。これは協議会会員もデータ提供で開発事業に協力しています。本年度

で終了の事業であり、ここ数年の夏季の猛暑や秋冬の温暖な気候を考えると、どのような結果が出たのか大変関心のあるところです。また、②農研機構生物機能利用研究部門の上西博英領域長、岐阜県畜産研究所 養豚・養鶏研究部の鈴木香澄氏、一般社団法人家畜改良事業団の伊藤智仁氏からは、豚抗病性改良 DNA マーカーについて講演をいただきました。昨今国内で発生が続いている豚熱をはじめ、養豚はとかく疾病との闘いとも言えます。貴重な遺伝資源である国産純粋種豚を維持するためにも、肉豚生産の生産性向上のためにも、本研究は非常に興味深いものとなっています。既に一般社団法人家畜改良事業団では、このマーカー検査を実施対応しています。検査料ほか、詳しくは一般社団法人家畜改良事業団家畜改良技術研究所遺伝検査部 担当:伊藤氏(電話:027-269-2441)までお問い合わせください。



星 協議会会長



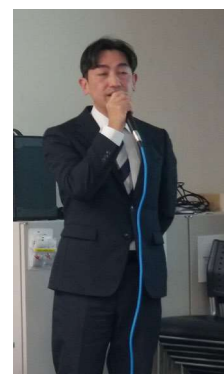
畜産振興課 新井課長補佐



司会担当 株式会社メンデルジャパン
田代会員

疾病に強い遺伝子を持つ個体を体格の良さ、繁殖能力、産肉能力、遺伝的能力評価と共に組み合わせ選抜していくことで、子豚の死亡率が減り、離乳頭数が増加すれば経営改善の強みにもなります。※これらの講演資料については事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 家畜改良
事業団 伊藤氏



冒頭にご挨拶を頂いた農林水産省葛谷畜産技術室長からは、国際的な潮流となっている SDGs やアニマルウェルフェアへの理解と取り組みへのお願いと、来年度(令和6年度)は豚を含む家畜改良増殖目標の見直しの年であり、協議会としても我が国の国産純粋種豚の能力向上を図るための活発な議論を行い、10年後の豚改良の方向性や養豚業の在り方について意見を求められました。閉会のご挨拶をいただいた独立行政法人家畜改良センター犬塚理事からはアニマルウェルフェアに関連して、家畜改良センターが分娩母豚への巢材提供に関する調査等に取り組んでおり、その成果を既にホームページで公開されている報告をいただきました。家畜改良センターは協議会活動の1つである協議会遺伝的能力評価や種豚ランキング公表を担当していますが、この精度向上を図る為

にも協議会内種豚交流を促進していくよう依頼もありました。これについては協議会全体で再度重要課題として取り組み強化を図っていきます。

星会長は「改良は1つ1つの課題をクリアしていかなばならないが、国内における豚熱の発生など大きな問題が多い。大規模ブリーダーも中小ブリーダーも一致団結して、国産純粋種豚の維持改良に取り組んで行くべき。」と話されました。私達協議会は日本国民やバイヤーが喜んでくれるような豚肉生産に取り組んでまいります。

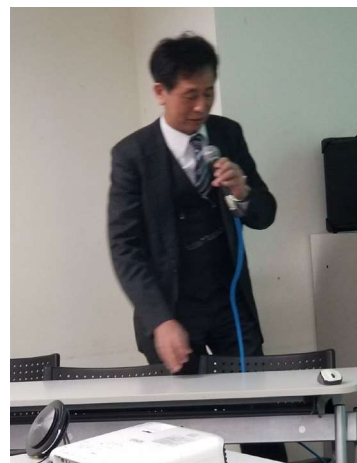
本年度は現在、新規で1名の会員入会がありました。一人でも多くの仲間を増やしていくとともに、皆様、協議会に益々のお力添えをよろしくお願いいたします。



議長を担当した株式会社
ファームテック 相馬氏



家畜改良センター 犬塚理事



農研機構 上西領域長

【お知らせ】

①新規会員のご紹介

・山梨県畜産酪農技術センター

また、新規学識経験者として

・井上慶一 先生(宮崎大学)

・小橋川寛 氏(石川県庁) 協議会に参加です。

山梨県は養豚生産者戸数が少ないなかでも、しっかりと『山梨県の養豚』を守り発展させています。また、井上先生は家畜改良センターで、協議会遺伝的能力評価と種豚ランキングを確立いたしました。小橋川氏は沖縄県庁で協議会設立当時から積極的に活動して頂いており、この度石川県庁に移られました。引き続き国産純粋種豚改良協議会銘柄豚認定委員や、青年倶楽部幹部としても積極的に活動に参加して頂いております!!



農研機構 岡村氏



岐阜県畜産研究所 鈴木氏

②『日本の系統豚』冊子、まとめました。

1979 年ランドレース第 1 号認定「ローズ」(茨城県)からの認定豚について、冊子にまとめました。御希望の方は事務局まで御連絡下さい。協議会ホームページでも紹介しています。

③種豚改良後継者育成プロジェクト稼働

ブリーダー育成と国産純粋種豚の維持改良啓蒙活動のため、種豚改良後継者育成プロジェクトを開始いたしました。皆様の周りで講習会など開催ご希望の教育機関などございましたら是非御連絡下さい。令和 5 年度は下記の 4 箇所で開催いたしました!!

- ・埼玉県立熊谷農業高等学校・東京都立瑞穂農芸高等学校・宮崎県立高鍋農業高等学校
- ・北海道立帯広農業高等学校

【再度お知らせ】協議会の会計方法について

協議会是一般会計とし、消費税を課税しないこととします。

- ・令和2年度まで、収入は消費税のかからない会費のみであったこと。
- ・小規模の任意団体であること。

以上の理由で、現在、消費税申告を行っておりません。

ところで令和5年 10 月からインボイス制度がスタートしました。

消費税の課税事業者にならないと、相手先にとって仕入税額控除対象の請求書を発行できない事となります。

しかし、協議会の規模に対して税金申告業務が煩雑なことを考慮し、会計士と相談の結果、引き続き課税事業者を選択しないこととしました。

協議会では、令和3年度以降銘柄豚認定事業が始まり、認定料や看板代といった収入が発生していますが、これらについては消費税を加味しない金額で請求しています。

認定事業開始当初、すでに消費税を加算して請求しお支払い頂いた会員様については、消費税分を返金する予定です。

なお、インボイス制度について詳しくは、お近くの税務署や国税庁にお問い合わせ、または、HP をご参照願います。

(国産純粋種豚改良協議会 経理担当 桜井光輝((一社)日本養豚協会)

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が 21 名、団体及び試験研究機関会員(学識経験者含む)25 名、オブザーバー会員は 3 名となっています。新規入会、オブザーバー参加へのご相談などお待ちしております!!



国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部

ざっくばらんな言いたい放題意見交換会 開催について

『国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部』ですが・・・事務局の言い訳です((ノ口))ｼﾝｼﾝ…人が集まって活動することに制限がかかってしまうような状況も続いており、なかなか始動に至っておりません。(幹部会は開催し、あれこれ練っております)

30～40代の種豚生産者の後継者が、10年、20年後もブリーダーとしてあり続けることができる勉強の場。現役経営者、担当者の方から、「是非、行ってこい」と言われるような活動内容と先代の失敗談も含めた「日本の種豚生産者の歴史」を聞くざっくばらんな、言いたい放題!?な意見交換会。さらには地方でも開催をするなど、検討をしております。

まずは『ざっくばらんな言いたい放題意見交換会』を開催予定しております。日程など確定しましたらお知らせいたしますので、もうしばらくお待ちください。

引き続き、青年倶楽部で取り上げて欲しいこと、取組んで欲しいことなど是非、御意見お待ちしております。協議会会員・オブザーバーであれば、官民所属関係なく、あなたも青年倶楽部の一員です!!

【青年倶楽部 幹部 清水氏(農事組合法人 富士農場サービス)】



青年倶楽部 引き続き大募集中です。

国純会で、ランドレース議論(仮称)をまとめてみませんか?

あなたの考えるランドレース種とは?

お声をお聞かせください。詳しくは事務局担当 湯浅(ゆあさ)まで。

各種お問い合わせは・・・こちらまで!!

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会

担当:小磯・湯浅・堀口

〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階

電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937

国産純粋種豚改良協議会公式ホームページ: <https://buta-kairyo.jp/>

ホームページのQRコードが出来ました
名刺などに入れて御活用ください!!



【お願い】

協議会データベースシステムにおける未登記豚のデータ入力について

(独) 家畜改良センター改良部情報分析課

協議会システムにおいて『未登記豚』として成績を入力した後に、登記登録を行い PINS システムにもデータを入力した場合は、重複個体のチェックを行いますので、家畜改良センター情報分析課（篠原）までご報告ください。

背景

- ・協議会評価では、PINS システムと協議会システム両方から抽出されたデータを用いている。
- ・未登記豚の状態で、一度協議会システムに入力した個体については、登記登録が取れた後に、PINS に登録すると、評価用データを作成する際に別個体として抽出され、重複が発生してしまう。（別添2）

※現在、このことについてシステム会社へ改修依頼中。

（参考）システムの設定では、PINS と協議会システムの情報は基本的に紐づいていない。ただし、農場独自番号の欄に耳標を入力した場合のみ、同一個体と認識が可能。

↓【最新】データ入力様式（提出版）.xlsx

繁殖成績														【別紙様式1】	
農場独自番号	品種	性別	生年月日	分娩年月日	産次	出生重(kg)	初産重(kg)	初産間隔(日)	事敗・出生子	死産子	生後5日齢生存子(頭数)	3週間育成頭数(頭数)	産乳率(kg)	文記欄品種	農場コード

◎評価精度向上のためには、できるだけ多くのデータが必要となる。そのため、当面の対応としては、データ入力は従来通りに行い、該当データの入力があった際は、情報分析課まで報告してもらい、個別に重複チェックをすることとしたい。

※本データの閲覧方法等については事務局・堀口(ほりぐち)まで。データに対する詳細については独立行政法人家畜改良センター改良部までお願いいたします。

また、令和4年度総会議案として承認も頂きました新たな取組としての『つなぎ評価』についても随時アナウンスしていきます。国産純粋種豚の能力向上スピードアップのためにもよろしくお願い致します。（『つなぎ評価』については総会議案書と共にお送りした別添資料があります。改めて資料が必要な方、また『つなぎ評価』の取組手法など問い合わせについては事務局・家畜改良センター・農研機構まで御連絡下さい。



【進捗状況報告】

国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚事業

令和5年度通常総会でも現在の活動報告を行いました。

①同じ肉豚ですが、流通などの関係で複数の銘柄名を持つ場合の認定について

やむを得ない背景と理由ということで、認定について都度の認定料を徴収しないこととしました。ただし、詳細な理由書などの提出と認定委員会による審議検討の結果、承認されることになります。詳しくは令和5年度通常総会報告書をご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

②協議会ホームページ

国産純粋種豚改良協議会ホームページ内に、認定銘柄豚専用ページを作成しております。国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚について、認定銘柄豚の個別紹介ページも非常に充実した内容になっていると事務局自負しております。是非、銘柄豚認定を取っていただき、本ホームページを有効活用してください。認定取られた方は掲載情報をお寄せ下さい。お待ちしております。(現在仕上げ工事中です。公開までもう少しお待ちください。)

③看板について

『国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定に関する規則』第7条にあります、銘柄豚認定申請者のうち希望者に配布する看板のデザインを公表します!!木製のA4に近いサイズで非常に重厚感のある、まさに国産純粋種豚を体現してくれるような仕上がりになっております。有償配布となっておりますが、ご希望の数を配布できます。直売店、取扱精肉コーナー、料理店などに置いてPRしてください。

完成版デザイン（設置参考例）

主な仕様
材質：木製（脚付）
厚さ：約2cm
サイズ：A4程度
文字：彫り文字
銘柄名：プレート
(艶消し金色)



←都内店舗

↓黒部市役所 市長室



【皆様に強くお願いです!!】

認定銘柄豚が現在、**9 銘柄**となっております。国産純粋種豚を広く周知していくためにも是非、認定申請について取引先生産者にもお声がけよろしくお願い致します。

目指せ 100 銘柄!!

令和 6 年度総会で協議会認定銘柄豚ハンドブック発刊を目指せ!!

銘柄豚を食べてもらうことで、消費者にも国産純粋種豚の重要性を理解してもらうことができます。
旨い飯に合う旨い豚肉の持続性可能な生産体制を目指します。



会員の桑原康さんが、令和 5 年度 農事功績者表彰を受けました。

公益社団法人 大日本農会の令和 5 年度 農事功績者として桑原さんが、緑白綬有功章を受章されました。

受章インタビューはホームページ及び令和 5 年度 国産純粋種豚改良協議会総会報告書をご覧ください!!

おめでとうございます😊

もう確認されましたか??飼養衛生管理基準(豚・いのしし) ガイドブック

改正された飼養衛生管理基準(豚・いのしし)について、ガイドブックができました。ガイドブックは、農林水産省ホームページにてPDFで公表されているほか、養豚生産者の皆さまには地元の家畜保健衛生所を通じて配布されております。未入手の方は是非、こちらをチェック!!

(参考)農水省ホームページ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/index.html

国産純粋種豚ホームページにあなたの自慢の種豚の写真を掲載しませんか?お問い合わせは事務局まで。

(CSF)&アフリカ豚熱(ASF) 予防対策の重要ポイント

予防対策の重要ポイント



種豚・精液、肥育もと豚等の 導入・販売でお困りの生産者の皆様へ』

相談窓口を開設しています。

国内で発生しております CSF 対策として一昨年からワクチン接種推奨地域においてワクチン接種による感染防止対策が行われています。

これにより、ワクチン接種した種豚等は非接種地域(現在は北海道のみ)への移動が出来なくなりました。

JPPA では、国産豚肉生産への影響を少しでも緩和するため、種豚・精液、肥育もと豚等の導入・販売に関してのご要望、ご相談をお受けし、可能な限り対応して参りますので、情報をお寄せいただきますよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、頂いた情報は個人名等を除いた形で他団体等とも共有し、効果的なマッチングを図っていきたいと考えています。

つきましては、種豚・精液、肥育もと豚等のマッチング用情報提供用紙を作成しておりますので、事務局までご連絡ください。

また、現状の顧客以外に配布可能な豚等がございましたら、この取組の一助となりますので、事務局まで情報をお寄せいただきますようよろしくお願い致します。(情報提供用紙は JPPA ホームページでも提供しています。)

●お問い合わせ等 窓口：国産純粋種豚改良協議会 又は
(一社) 日本養豚協会 改良部



事務局からのお知らせ

「国産純粋種豚改良協議会」は
平成 28 年 3 月 31 日、オールジャパンでの種
豚改良を目指して発足しました。只今、会員絶賛
募集中です!!

★令和 5 年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では令和 5 年度も種豚導入補助事業の事業実施主体となりました。国産純粋種豚の能力底上げが目標の事業です。本事業は単年度事業ですが、平成 26 年度から続いている事業で、会員及びオブザーバーの方で事業参加され、積極的に改良のための導入を行って頂きました。生産者間血縁構築にも有効に活用されています。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為に是非、有効活用しましょう。お問い合わせは事務局の湯浅までお願いします。

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップの、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。是非、公式ホームページ・本日よりもご活用ください!!

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしく願いいたします。協議会認定銘柄豚事業もご活用下さい!!協議会についてのお問い合わせもお待ちしています。

★産肉検定・豚人工授精師資格取得等について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思えます。また、一般社団法人日本養豚協会 豚産肉能力検定規程の見直し検討を開始しました。皆様には今後、各種データ提供御協力依頼など実施しますので、御協力よろしくお願い致します。最近非常に問合せが増えております、豚人工授精師資格取得や人工授精の講習会等、皆さんで情報交換を行いたいと思えます。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

★国産純粋種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)

新・リレー連載～会員・事務局からのひとこと掲示板～

桑原様 公益社団法人日本大農会 令和5年度農事功労者表彰受賞おめでとうございます。

桑原様とのお付き合いの始まりは、就職して数年後、担当するブリーダーさんが富士農場サービスへ種豚持っていくことから始まります。

そのブリーダーさんが車の免許を持っていなかったため、主に運転手としての作業でしたが富士宮に行った際は、ほぼ一日をかけて数か所の農場を回り、ご自慢の種豚を見て講義をうけて回りました。

当時の自分は退屈で、帰らせてほしいと思いましたが、今思い返すとそれは大変ありがたいことで、現在の飼養衛生管理状況を考慮すると、もう二度と出来ないことですし、そこで理想的な種豚の形、種豚選抜基準を勉強することができたことに感謝します。